

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年08月18日

計画の名称	下水道整備による小平市の安全・安心な暮らしの推進（防災・安全）（重点計画）												
計画の期間	平成30年度～平成32年度（3年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	小平市												
計画の目標	下水道整備による浸水対策及び下水道施設の地震対策を行うことにより、市民が安心して暮らせる環境づくりを目指す。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	936	A	936	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H30当初)	中間目標値	最終目標値 (H32末)
1	下水道による都市浸水対策達成率を74%（H30当初）から75%（32末）に増加させる。			
	下水道による都市浸水対策達成率 浸水対策完了済み面積（ha） / 浸水対策を実施すべき面積（ha）（市域全域：2,046ha）	74%	%	75%
2	市内避難所におけるマンホールトイレ整備率を100%達成する。			
	マンホールトイレ整備率 マンホールトイレ整備箇所数（箇所） / 市内避難所箇所数（箇所）（39箇所）	69%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	市区町村名/港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況	
												H30	H31	R02	R03	R04				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	A07-001	下水道	一般	小平市	直接	小平市	管渠(雨水)	新設	荒川右岸処理区雨水管渠整備(浸水対策)	雨水管整備 L=3,060m 0~1,650	25	小平市						841		-
		H26~29「小平市公共下水道施設の整備」にて、同事業を実施。全体事業費356百万円、整備実績L=2,383m(300~1350)。																		
	A07-002	下水道	一般	小平市	直接	小平市	-	新設	マンホールトイレ整備(地震対策)	避難所12箇所		小平市						95		策定済
		「小平市下水道総合地震対策計画(期)」策定。H26~29「小平市公共下水道施設の防災・安全対策」にて、同事業を実施。全体事業費150百万円、整備実績27箇所。																		
												小計						936		
												合計						936		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
「小平市環境審議会」（学識経験者2名、事業者1名、市民公募4名、関係行政機関の職員1名、計8名）において実施	令和3年8月10日
	公表の方法
	小平市ホームページ

事業効果の発現状況

<p>定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況</p>	<p>浸水対策 合流管を含む雨水管の整備について、令和2年度の最終目標値である75.0%（1,533.8ha）の整備が完了し目標を達成している（市全域:2,046ha）。また、令和2年度末で過去に浸水被害歴のある地区の整備が完了し、大雨による浸水被害の軽減が図られた。</p> <p>地震対策（マンホールトイレ整備） 平成30年度までに、避難所11箇所に70基のマンホールトイレを整備し、事業を開始した平成26年度からの累計で38箇所（314基）設置した。マンホールトイレの整備により、トイレ機能を確保することで、被災時における避難所の公衆衛生の悪化防止を図った。</p>
<p>定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況（必要に応じて記述）</p>	

特記事項（今後の方針等）

<p>浸水対策 令和3年度以降の浸水対策については、小平市第二次下水道プランに位置付けた重点地区を中心に雨水管渠整備等を実施し、大雨時での浸水リスクの低減を図る。</p> <p>地震対策 平成30年度末に策定した小平市下水道総合地震対策計画（第三期）に基づき、重要な幹線等の耐震化を推進し、大規模地震時の被害の最小化を図る。</p>
--

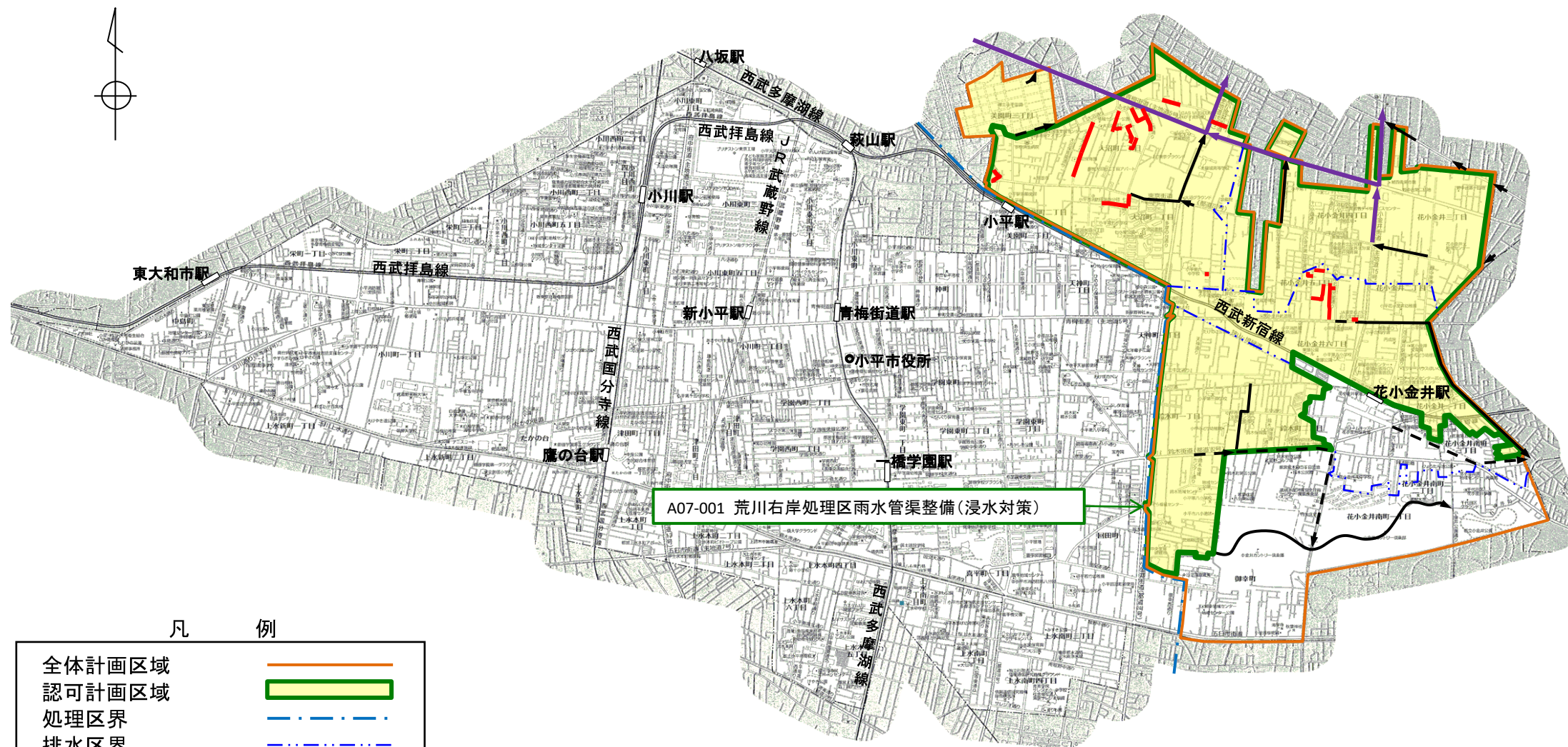
目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	75%
	最終実績値	75%
2	最終目標値	100%
	最終実績値	97%
		計画に位置づけていた避難所のうち、小川西町公民館については、計画策定以降に現施設の廃止が決定されたことから累計38箇所となった。当初目標の39箇所を達成していないものの、現時点で設置可能な避難所への対策は平成30年度末で全て完了している。

(参考様式3) 参考図面 (防災・安全交付金)

計画の名称	下水道整備による小平市の安全・安心な暮らしの推進 (防災・安全) (重点計画)	
計画の期間	平成30年度 ~ 令和2年度 (3年間)	交付対象 小平市

No.1 荒川右岸処理区雨水管渠整備箇所図

荒川右岸処理区(分流式下水道) 654.6ha



A07-001 荒川右岸処理区雨水管渠整備(浸水対策)

凡 例

全体計画区域	———
認可計画区域	———
処理区界	- · - · -
排水区界	- · - · -
流域下水道幹線 (雨水)	———▶
公共下水道幹線 (雨水) (完成)	———▶
公共下水道幹線 (雨水) (未整備)	- - - -▶
雨水管渠整備 (浸水対策)	———

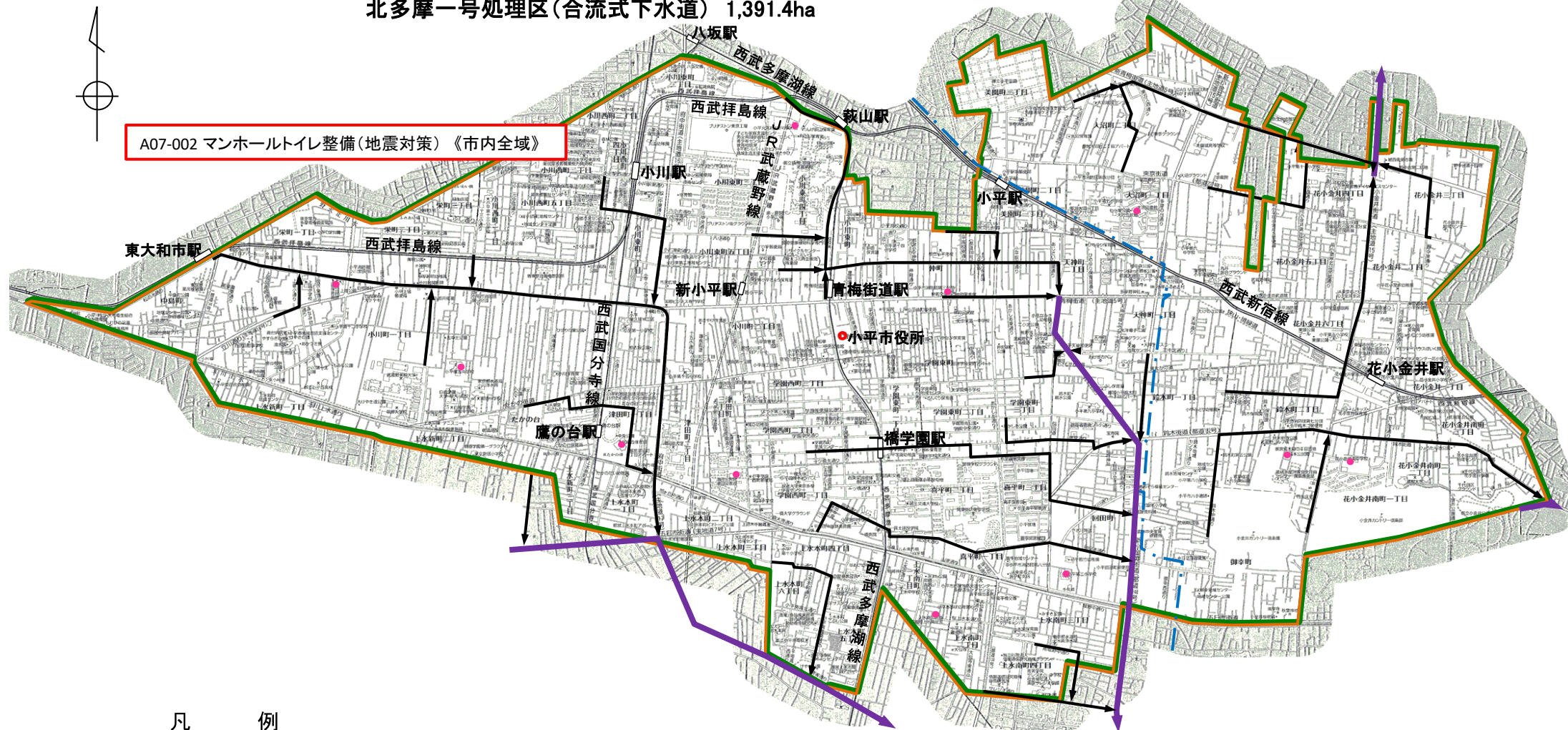
(参考様式3) 参考図面 (防災・安全交付金)

計画の名称	下水道整備による小平市の安全・安心な暮らしの推進 (防災・安全) (重点計画)	
計画の期間	平成30年度 ~ 令和2年度 (3年間)	交付対象 小平市

No.2 マンホールトイレ整備箇所図(市内全域)

荒川右岸処理区(分流式下水道) 654.6ha

北多摩一号処理区(合流式下水道) 1,391.4ha



A07-002 マンホールトイレ整備(地震対策)《市内全域》

凡 例

全体計画区域	— (Orange line)
認可計画区域	— (Green line)
処理区界	- - - (Blue dashed line)
流域下水道幹線 (汚水)	→ (Purple arrow)
公共下水道幹線 (汚水)	→ (Black arrow)
マンホールトイレ整備箇所	● (Red dot)

計画の目的 >>> 下水道整備による浸水対策及び下水道施設の地震対策を行うことにより、市民が安心して暮らせる環境づくりを目指す。

**計画の成果目標(定量的指標) 《浸水対策》**

下水道による都市浸水対策達成率を74%(H30当初)から75%(R2末)に増加させる。

**定量的指標の定義及び算定式**  
 下水道による都市浸水対策達成率  
 浸水対策完了済み面積(ha) / 浸水対策を実施すべき面積(ha)(市域全域:2,046ha)

**定量的指標に関連する達成状況**  
 合流管を含む雨水管の整備について、令和2年度の最終目標値である75.0%(1,533.8ha)の雨水管渠整備が完了し目標を達成している。



**1. 事業の背景・目的**  
 近年の局地的な大雨により、荒川右岸処理区関連区域(黒目川流域及び石神井川流域)の各所で道路冠水等の浸水被害が発生している。こうした浸水被害の早期解消を図るため、平成22年度末に策定した「小平市下水道プラン」に基づき、浸水被害歴がある地区を優先とした雨水管渠整備を計画的に実施している。

**2. 事業の概要**

- 雨水管整備 : L=2,428m φ250mm～φ1,350mm (計画 L=3,060m φ250mm～1,650mm)
- 整備箇所 : 大沼町・花小金井・美園町地内
- 全体事業費 : 841百万円(計画 952百万円)
- 交付金額 : 141.9百万円

**3. 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況**  
 ・令和2年度末で当該流域内で過去に浸水被害歴のある地区の整備が完了し、大雨による浸水被害が軽減された。

道路冠水箇所	
H26～29年度	内径250mm～1,350mm L=1,009m
H30年度	内径250mm～700mm L=727m
R1年度	内径300mm～500mm L=259m
R2年度	内径250mm～400mm L=146m



**4. 今後の方針等**  
 ・小平市第二次下水道プランに位置付けた重点地区を中心に雨水管渠整備等を実施し、大雨時での浸水リスクの低減を図る。

**計画の成果目標(定量的指標) 《地震対策(減災対策)》**

市内避難所におけるマンホールトイレ整備率を、100%達成する。

**定量的指標の定義及び算定式**  
 マンホールトイレ整備率  
 マンホールトイレ整備箇所数(箇所) / 市内避難所箇所数(箇所)(39箇所)

**定量的指標の達成状況**  
 事業を開始した平成26年度からの累計で避難所38箇所に314基のマンホールトイレを設置した。小川西町公民館については、計画策定以降に現施設の廃止が決定されたことから累計38箇所となった。当初目標の39箇所を達成していないものの、現時点で設置可能な避難所への対策は平成30年度末で全て完了している。

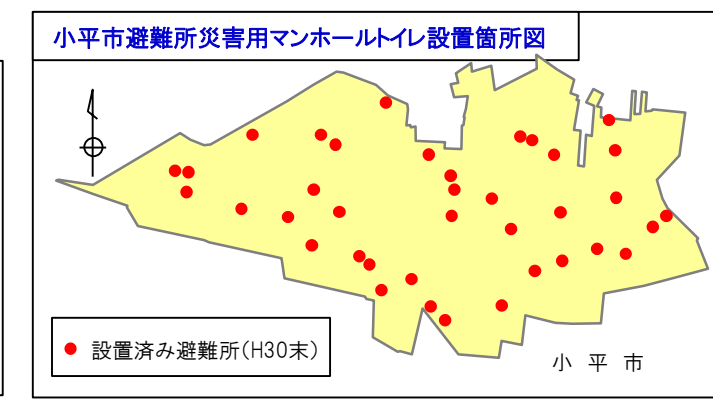
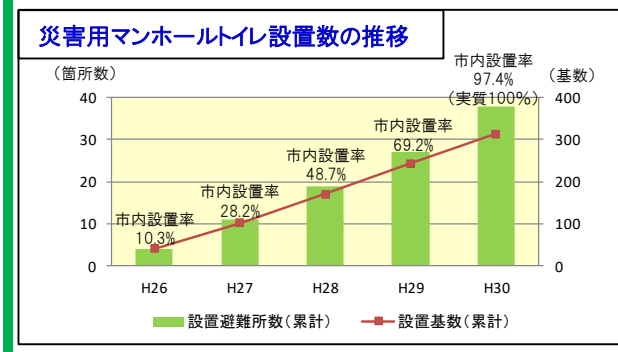


**1. 事業の背景・目的**  
 H23.3月に発生した東日本大震災における下水道施設への甚大な被害などを踏まえ、市の下水道事業の総合的な地震対策を実施することを目的として、H25末に「小平市下水道総合地震対策計画(第二期)」(計画期間: H26～H30)を策定。その中で、避難所から排水される管路の耐震化を行う「防災対策」のほか、「減災対策」として、避難所へ「災害用マンホールトイレ」を設置する。

**2. 事業の概要**

- 設置箇所(基数) : 避難所 11箇所(70基) (計画 避難所 12箇所(73基))
- 全体事業費 : 95百万円(計画 97百万円)
- 交付金額 : 15.1百万円

**3. 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況**  
 ・災害用マンホールトイレの整備により、トイレ機能を確保することで、被災時における避難所の公衆衛生の悪化防止を図った。



**4. 今後の方針等**  
 ・平成30年度末に策定した小平市下水道総合地震対策計画(第三期)に基づき、重要な幹線等の耐震化を推進し、大規模地震時の被害の最小化を図る。